

春を訪れて

暖かい生い茂る春の空を
歌ひ行くと、若き心

春を訪れて
暖かい生い茂る春の空を
歌ひ行くと、若き心

春を訪れて
暖かい生い茂る春の空を
歌ひ行くと、若き心

春を訪れて
暖かい生い茂る春の空を
歌ひ行くと、若き心

春を訪れて
暖かい生い茂る春の空を
歌ひ行くと、若き心

春を訪れて
暖かい生い茂る春の空を
歌ひ行くと、若き心

春を訪れて
暖かい生い茂る春の空を
歌ひ行くと、若き心

春を訪れて
暖かい生い茂る春の空を
歌ひ行くと、若き心

春を訪れて
暖かい生い茂る春の空を
歌ひ行くと、若き心

春を訪れて
暖かい生い茂る春の空を
歌ひ行くと、若き心

春を訪れて
暖かい生い茂る春の空を
歌ひ行くと、若き心

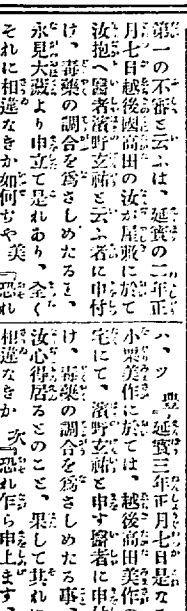
春を訪れて
暖かい生い茂る春の空を
歌ひ行くと、若き心

春を訪れて
暖かい生い茂る春の空を
歌ひ行くと、若き心

春を訪れて
暖かい生い茂る春の空を
歌ひ行くと、若き心

不審十箇條

小栗美作が大膽不羈と申立てに、阿部豊後守喟と怒り、豊後(阿部)美作、
繼令此方弱なりとも、君餘に依つて
再諍を發する者な、然るに唯今の
汝の一言、上御朝廷をも憚からざる
大膽さ、之を以ては汝の主家御師は
相分りたるぞ、無禮者奴」ツと睨め
付けられ、美作恐れ入つて控へた。
此時の落首に「一口と思ひけり」美
作も阿部御座るに味噌を付けたりと
云ふが御生ります、年餘は弱いが
段守守は餘程器量人であつたと見
えまつ、豊後守喟、上一箇師の



ながら申上げます、美作一向に左様な事は罷え御坐いませぬ、豊一は證人を以て相殺ねる、左様心得ず、證人、大野次郎兵衛を此處へ一此際目付、藤兵衛、大野次郎兵衛を呼出し、御意の所より一段下つて控へさせると、大野次郎兵衛に申ひ、「コレ大野兵衛、將軍家はじめ奉り、御老若御別當、藏んで申し上げえ、ハナ承知いたしましたして御坐います、」その後、豊一、大野次郎兵衛、大へ上を擡り、陣中で申し上げるは當然の儀なれど去りての餘、謹み過ぎては、却て都合解

私は、苗田園籠手足輕で御坐いて、腰置の下で御坐いますか、美味い物も喰べられず、綺麗なもの著ることが出来ず、一生淫を此處で終るかと、思ふに、誠に申上るは、御座り多いこと御坐いますか、是れ亂れた世の中であつたらば、拾ひ育の一つとして、又立身の出る事もありますが、是も此泰平の今日、は、其様な事は夢にも見られない、斯くも不若達つた道を踏まなければ、立身出世は出来ないと云ふ心得違から、悪いとは知りながら、小栗の屋敷へ申入を致し、次郎兵衛あ

[illegible]

ので大いに驚いて尙ほよく調べる。その附近からボロムになつた毛布が一枚、兎はれた箇所は維新當時盛んに斬取強盜の出沒した處とて多量其の時分の屍骸では無からうかといふ時だ。

して盛むに各階級に讀まれて居る
▲配達人に短銃 逓信省では近頃郵便物の被害が頻りにあるのでその豫防に就て研究中であつたが今後は都市に於ても配達人にピストルを持たせる事になつた
▲維新府分の鯛鮓か 兵庫港地尾村字念佛山南濱手の海濱近く地下約六尺の處から一個の鯛鮓が現はれた

に立ちし七、高川」といふ上野物語を導は

泌尿器病
淋病 梅毒 梅毒 皮膚病
膀胱病 睪丸病
門 專
目二丁可樂永
降會敏光金
院醫部安
番九一話電

頗りに獨軍の中で働らいて居る同人は
 幾度か危險を冒して男子でさへ世に
 得ぬ困苦と闘かつて居たがその功
 に依つて繼しく靈常に謂を賜はり靈
 ほと自動車運転手として東方鐵道中

入院隨意（診療夜九時迄）

中が毎晩大勢同家に押かけて行くが、
やつぱり鑑の言が聞えるので一聞不
思議と思つて居るといふ。
△戦場の女逢手 軍醫の若い妻君
で名をアンネ・マリー、ライデーと
呼ぶ女が軍用自衛隊の運転手として

△丑滿町地下から挿入銃子ケ頭に程近い前田村の土肥長吉方では毎夜丑滿町になると地の下から幽かな銃の音が聞けるので地下へ引入れられるやうな心持になると云つて若夫婦が逃出してつたそれを聞いた村の連

ますが、只今御の通り、延寶二年正月七日の朝、小栗様には抱へ醫者濱野玄格を一室へ呼び、毒藥調合の儀を申し付けまして御坐ります

爲え、斯う爲え大野と、吩咐けらるるまゝ、小栗様が悪事の手先を働きましたから、宜く何事も存じて居り

登錄商標

シラガ赤毛染 あかきそめ

ナイスに限る。

五大特長

■ 髪を二十分、染り、
■ 艶々、黒く美しく、
■ 洗って、剥ず、永く保ち、
■ 櫛につかず、
■ 用法、至極簡易也、

白毛赤毛染

スイナ

りわに、店品並化粧店業の處る到國全

黒い黒い！

自然しぜんの黒髪くわみに

優やさる染色ろうめいは

黒くろ、黒くろ、ハッ！



大瓶 七 十 銭
小瓶 七 十 銭
男 三 子 十 銭

登 寶
大 阪 東 京
丹 平 商 會

祝三千號記念
 各種酒、醬、醃、鹹、臘、味、具
 肥、美、特、種、味、具
 晉州城外
 濟南府
 街用達
 上晉村
 種苗
 重次郎
 園
 電話一三七一
 京坂一九一三番
 振替

受領
御満足必なり
得られます
支店
大阪南久寶寺町四
藤森
源之助

金沢博文園為記

本舖東京
井澤製

油

力


油

お使ひ
遊ばせ

牌

癬がなく、そして
濃く長ければ
良いので
それには
何より

最もよき
髪油



金
皆さまが、毛髪けうはつについて
お望みは黒くて艶があり


ヘルプ

下痢止
腸胃藥

を試みられよ

下痢腹痛は直ぐ治り

ちやうど
腸胃は健全に復す



箱	五	十	包
一	二	一	包
五	十	一	包

（ヘルプ主効）

▲食傷の水あたり ▲時節あ
たり ▲寒冷 ▲冷腹 ▲食過な
ごより 起る

●下痢腹痛の吐瀉等法服
服死期を止め腸加答見
胃加答見を治す

東京市日本橋區本町三丁目
本舗 津村敬天堂
支店 東京八六四番
全國各藥店に取次ぐ

[illegible]

腹具合の悪い時には

下痢、腹痛には

ヘルプが一番よい

ヘルプ特色

定価

晉州料理屋組合
 目品
 石鹼部
 化粧用石鹼、工業用、家庭
 用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼
 牛脂、椰子油、鯨油、其他
 油脂類、苛性曹達、洗曹達
 京阪國路町一四番地
 朝日石鹼製造所
 電話二五六一番
 電話九七四番
 探検口座五城四〇番

祝三千號記念

▲代理店

釜城南大門通	五井藥房
釜山新天町	本屋藥舖
元山港	石田衛生堂
	安東縣正房
	キムラ
	井上藥舖

營業


蒸製骨粉、乾血、露骨膏
早印配合肥料、細工用骨膏
細工用蹄角各種膠皮及膠原料

肥料部

京坂東大門外紅菱町

朝鮮肥料製造所

電話 二六三五番


 醫家 推莫 **益々盛なり**
 實別庄 全業店に
 北支文社へ納本
 特高等 許微
 三巴商會
 主任 奥村竹三郎
 農務

滋養補血
フエール
大瓶小瓶の
二種あり
鋼製なき地方は

祝三千號記念
全羅北道金堤
可那農高

生存機能に必要欲くへらざる

活版印刷
諸紙並に
文房具

晋州開文社

社主 北川茂三郎

電話五一番

良の
撰擇
法を

日丁一町治明
告支城京

番九四八話電
四七五城京設

祝三千號記念

慶南晉州本町

比較

サクラ正宗

京山

品

最良

行

帝國の英艦撤退要求

英政府に強硬なる交渉開始
同時に支那海各方面に軍艦を配置し何時にても出動し得る準備を整へ英政府に強硬なる交渉を開始す

廣西獨立軍組織成る

軍資金を受取り直に獨立を宣言す
廣西の獨立は十四日北京より軍資金を受取り直に十五日廣西を離れ獨立を宣言し陸榮廷を都督とし陸榮廷を討袁總司令官とし安撫軍政府の組織を完成せるが更に二説に據れば廣西獨立軍は連日連日廣西に入るべし

廣西獨立と懷柔策

北京政府の苦慮と討伐の作戦
廣西獨立軍の勢力は廣西の形勢に於いて討伐の作戦を容易ならざるを認め懷柔策を以て獨立を中止せしめんとす

陸榮廷等の彈劾

三箇條の要求を提出し袁總統の隱退を促す
陸榮廷等の彈劾は三箇條の要求を提出し袁總統の隱退を促す

李烈鈞順安に戦ふ

廣東方面より得たる情報に據れば順安は李烈鈞に陸榮廷と協力して廣東順安市の兵を擄奪中なり

米下院と成規兵員

華盛頓電に據れば米下院は一名の兵員を成規の兵員に十二萬の定數に満たしむるの權能を大統領に附與せんとする決議案を通過した

御大禮關係者

恩賞賜金傳達
昨秋大禮に際し恩賞賜金傳達

航空隊令施行

加藤總務長官は航空隊令施行
航空隊令は四月一日より施行する

警察令今昔感

子爵趙重應氏談
警察令の今昔を語る

學校新設數

本年の學校新設數
本年の學校新設數は前年より増加する

三郡造林著手

廣西の三郡に造林著手
廣西の三郡に造林著手

基礎が確立したから此の

時を以て改革時代と稱すべき
基礎が確立したから此の時を以て改革時代と稱すべき

勃、羅通商關係斷絶

勃羅通商關係斷絶
勃羅通商關係斷絶

米軍國境を通過す

米軍はニュー・コンパス附近より
米軍はニュー・コンパス附近より

佛軍砲兵隊の活躍

十八日巴里に於て佛軍砲兵隊は
十八日巴里に於て佛軍砲兵隊は

清會線

清會線
清會線の状況

二月京城金融

二月京城金融
二月京城金融の状況

勝田總督任期

勝田總督任期
勝田總督任期の状況

東洋興業會社設立

東洋興業會社設立
東洋興業會社設立の状況

古城氏の快氣

古城氏の快氣
古城氏の快氣の状況

客月京城商況

客月京城商況
客月京城商況の状況

古城氏の快氣

古城氏の快氣
古城氏の快氣の状況

大阪財界通信

大阪財界通信
大阪財界通信の状況

愈四月雜誌代二割上げ

愈四月雜誌代二割上げ
愈四月雜誌代二割上げの状況

朝鮮鑛業令

朝鮮鑛業令
朝鮮鑛業令の状況

石數量を問はず高價買入申候

石數量を問はず高價買入申候
石數量を問はず高價買入申候の状況

中川

中川
中川の状況

談餘戰大洲歐

談餘戰大洲歐
談餘戰大洲歐の状況

戰爭の代價

戰爭の代價
戰爭の代價の状況

少年世界

少年世界
少年世界の状況

少女世界

少女世界
少女世界の状況

愈四月雜誌代二割上げ
松井松榮堂

朝鮮鑛業令
松井松榮堂

石數量を問はず高價買入申候
中川

談餘戰大洲歐
戰爭の代價

少年世界
少女世界

新入學後の感想
農具、養蠶器具、肥料、各種販賣

果樹苗
桃、梨、蘋果、各種果樹苗

月收七拾五圓
大日本新聞學會出版部

大阪財界通信
大阪財界通信の状況

五十六粒五錢六錢五分	五錢五分	四錢二分
十八日	五月	
十國六十二歲	十一歲	
五萬八千一百石	四月限	一萬石
五萬八千一百石	三月限	五百五十石
	二月限	五百五十石
	一月限	五百五十石